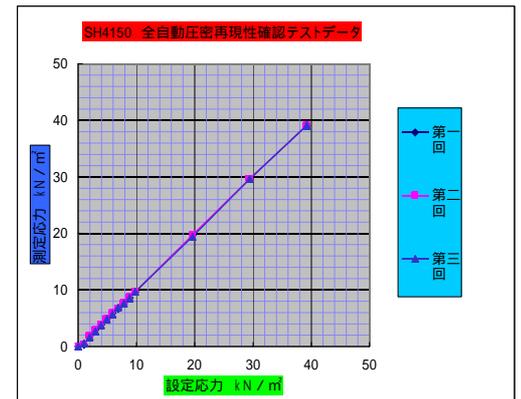


全自動圧密 SH4000シリーズ



再現性確認テストデータ（小荷重）



特 徴

制御及び計測部が、コンパクト。エア供給部が、パッケージ構造でメンテナンスが容易

各チャンネルは、個別の荷重及びサンプリング条件が設定出来る

長期、多段階、荷重制御載荷が出来る。独立計測入力で、応答が速く誤計測が無い

載荷直後のオーバーシュート、リングングが殆ど無い

荷重設定毎にセンサーのオフセットを取るため、ドリフトが無視出来る

載荷荷重の校正は、校正荷重計を使用してユーザーにて、任意に自動で出来る

圧力、温度及び荷重計データが記録出来、システムの安定性が確認出来る

一次圧低下の対策が有る。停電の対策が有り、交換バッテリーが安価

電力消費が少ない（10チャンネルで150W以下）

エア消費が少ない（10チャンネルで平均40ℓ/分、最大70ℓ/分）

安価なバージョンアップで、機能他が増強出来る

架台及び容器等以外の部品の多くは、在庫があり敏速な修理が可能

解析用パソコンソフトの提供で、地盤工学会対応の出力が出来る

SH41xxは、内部制御圧力が最大730kPaと低い為、一次圧の変動余裕、使用部品の劣化遅延の利点がある